

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2000244783
PUBLICATION DATE : 08-09-00

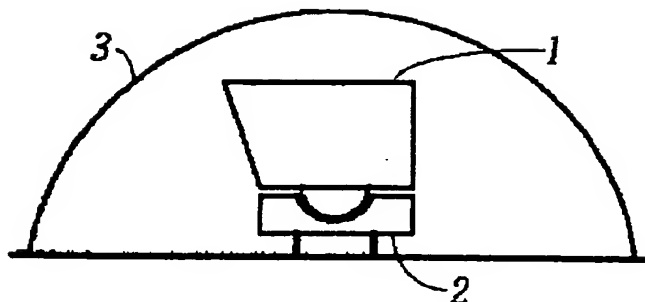
APPLICATION DATE : 19-02-99
APPLICATION NUMBER : 11040765

APPLICANT : FUJITSU GENERAL LTD;

INVENTOR : SASADA YOSHINAGA;

INT.CL. : H04N 5/225 H04N 7/18

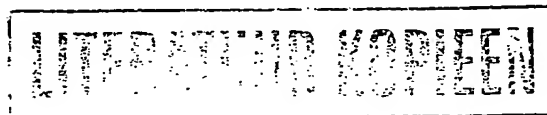
TITLE : MONITORING CAMERA DEVICE



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the image pickup of a range where monitoring (image pickup) by a monitoring camera provided with a turning device is not permitted.

SOLUTION: The monitoring camera is provided inside a camera case 1 and is turned by a turning device 2 and monitoring is performed. The monitoring camera is covered with a dome case formed in a semispherical shape by a transparent member and a blind is provided on a part pertinent to the range where the image pickup by the monitoring camera is not permitted in the dome case. For the blind, an opaque paint, for instance a black paint, is applied or an opaque sheet, for instance a black sheet, is stuck.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO



BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-244783
(P2000-244783A)

(43) 公開日 平成12年9月8日(2000.9.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
H 0 4 N	5/225	H 0 4 N	C 5 C 0 2 2
	7/18		D 5 C 0 5 4

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-40765

(22) 出願日 平成11年2月19日(1999.2.19)

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 笹田 欣呂

川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士
通ゼネラル内

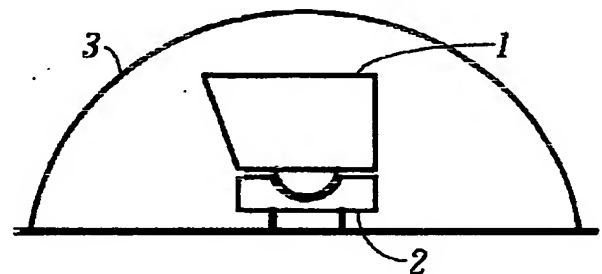
Fターム(参考) 5C022 AA01 AC27 AC51 AC63 AC77
5C054 CE06 CF05 HA18

(54) 【発明の名称】 監視カメラ装置

(57) 【要約】

【課題】 旋回装置を具えた監視カメラで監視(撮像)してはならない範囲を撮像しないようにする。

【解決手段】 カメラケース1に監視カメラを内設し、旋回装置2で旋回させて監視する。この監視カメラを透明な部材で半球形に形成したドームケースで覆い、ドームケースの監視カメラで撮像してはならない範囲に該当する箇所に目隠しを設ける。目隠しは、不透明な塗料、例えば、黒色塗料を塗布するか、不透明なシート、例えば、黒色シートを貼付する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 旋回装置を具えた監視カメラを透明部材により形成した半球形のドームカバーで覆い、該ドームカバーの前記監視カメラで撮像してはならない視角に該当する箇所に入射光を遮断するための目隠しを設けた監視カメラ装置。

【請求項2】 旋回装置を具えた監視カメラを透明部材により形成した球形のドームカバーで覆い、該ドームカバーの前記監視カメラで撮像してはならない視角に該当する箇所に入射光を遮断するための目隠しを設けた監視カメラ装置。

【請求項3】 前記目隠しは、前記ドームカバーに不透明な塗料を塗布したものでなる請求項1または2記載の監視カメラ装置。

【請求項4】 前記目隠しは、前記ドームカバーに黒色塗料を塗布したものでなる請求項1または2記載の監視カメラ装置。

【請求項5】 前記不透明な塗料または黒色塗料は、溶剤により除去可能なものを用い、塗布し直しが可能なようにした請求項3または4記載の監視カメラ装置。

【請求項6】 前記目隠しは、前記ドームカバーに不透明な材料で形成したシートを貼付したものでなる請求項1または2記載の監視カメラ装置。

【請求項7】 前記目隠しは、前記ドームカバーに黒色シートを貼付したものでなる請求項1または2記載の監視カメラ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は監視カメラ装置に係り、監視範囲を制限するものに関する。

【0002】

【従来の技術】旋回装置を具えた監視カメラ（以降、カメラと略す）では、プライバシーの侵害あるいは企業秘密等のため旋回範囲に監視（撮像）してはならない（カメラの映像をモニタに表示してはならない）箇所がある場合がある。このため、例えば、旋回装置にリミットスイッチを設け、リミット設定した範囲外にはカメラが旋回しないようにし、撮像不可範囲がカメラの視角に入らないようにしたものがあるが、この方法では制限範囲を一箇所しか設定できず（これより右あるいは左に旋回しない）、また、ズームレンズを装着したカメラではレンズを広角にした場合に旋回の制限では撮像範囲を制限することが難しいという問題がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、カメラの旋回範囲内に監視（撮像）してはならない範囲が複数箇所ある場合、あるいはズームレンズを装着したカメラの場合でも、監視不可範囲は確実に撮像が行われないようにすることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の監視カメラ装置では、旋回装置を具えた監視カメラを透明部材により形成した半球形または球形のドームカバーで覆い、ドームカバーの監視カメラで撮像してはならない視角に該当する箇所に目隠しを設ける。

【0005】前記目隠しは、ドームカバーに不透明な塗料を塗布したものとする。

【0006】前記不透明な塗料は、例えば、黒色塗料である。

【0007】なお、塗料は溶剤により除去可能なものを用い、塗布し直しが可能なようにする。

【0008】あるいは、ドームカバーに不透明な材料で形成したシートを貼付したものとする。

【0009】前記シートは、例えば、黒色シートである。

【0010】

【発明の実施の形態】発明の実施の形態を実施例に基づき図面を参照して説明する。図1は本発明による監視カメラ装置の一実施例の要部構成図、図2はドームカバーの一例である。図1において、1はカメラケースで、監視カメラが内設されている。2は旋回装置で、内設された監視カメラをカメラケース1と共に旋回する。3はドームカバーで、透明な材料で半球形に形成したものである。図2の11は目隠しで、ドームカバー3の監視カメラで撮像してはならない視角に該当する箇所に設ける。図は二箇所に設けた例である。目隠し11は、不透明な塗料、例えば、黒色塗料を塗布するか、不透明な材料で形成したシート、例えば、黒色シートを貼付し、この範囲では監視カメラのレンズに光が入らないようにする。なお、塗料を塗布する場合は溶剤による除去の可能な塗料を用い、目隠し範囲の変更、あるいは修正等の場合に塗布し直しができるようにしておく。なお、上記ではドームカバー3を半球形としたが、これを球形に形成し、カメラケース1を下方まで覆うようにしてもよい。

【0011】目隠し11を設けるには、例えば、監視カメラによる画像をモニタで見ながら旋回装置2を旋回させ、監視（撮像）してはならない箇所に向け、ズームレンズを用いる場合はこの状態（向き）でズームレンズを広角にし、モニタ画面を見ながらドームカバー3に黒色塗料等を塗布するか、黒色シート等を適宜の大きさに切断するか、適宜の枚数を並べて貼付する。図2は目隠し11を二箇所に設けた例であるが、このような方法であれば二箇所以上の多くの箇所に細切れ状に設けることも可能である。

【0012】監視される側から見れば、ドームカバー3には自分の方に向いた部分に着色されていることがわかるので、監視カメラが旋回しても自分が撮像されないようになっていることを確認できる。監視してはならない範囲に変更がある場合、塗料の場合は溶剤を用いて塗料を剥がし、新たに塗料を塗布すればよく、シートの場合

は貼付し直せばよい。

【0013】このように、監視カメラを覆うドームカバー3に目隠しを設けるものであるから、複雑な構造あるいは回路を必要とせず、比較的安価で、しかも目隠し範囲の変更が容易である。

【0014】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明による監視カメラ装置によれば、旋回装置を具えた監視カメラを透明部材で形成した半球形または球形のドームカバーで覆い、ドームカバーの監視カメラで撮像してはならない視角に該当する箇所を黒色塗料あるいは黒色シート等で目隠しするものであるから、監視してはならない範囲を

確実に撮像しないようにでき、複雑な構造あるいは回路が不要で、かつ、比較的安価で確実に実施することができる。

【図面の簡単な説明】

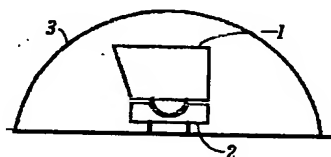
【図1】本発明による監視カメラ装置の一実施例の要部構成図である。

【図2】ドームカバーの一例である。

【符号の説明】

- 1 カメラケース
- 2 旋回装置
- 3 ドームカバー
- 11 目隠し

【図1】



【図2】

